

令和8年3月17日

お客様・関係者 各位

弊社定期高速船「タクマ3」の無期限休止および今後の事業体制に関するお知らせ

第一マリンサービス株式会社

平素より弊社高速船をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当社は、令和8年2月16日(月)より実施しております高速船「タクマ3」航路の運休につきまして、慎重に検討を重ねてまいりましたが、誠に残念ながら**令和8年3月31日**をもちまして、**同航路を無期限運休**させていただくこととなりました。

これまで長きにわたり本航路を支えてくださった地域の皆様、ご利用いただいたお客様には、心より深く感謝を申し上げますとともに、多大なるご不便をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

1. 定期航路終了に至った経緯について

「タクマ3」は進水から約25年が経過し、船体の老朽化が深刻な課題となっておりました。弊社ではお客様の安全を第一に掲げ、多額の費用を投じて懸命に整備を続けてまいりました。しかしながら、物理的な経年劣化に加え、安全航行に欠かせない主要部品の生産終了などにより、現在、部品調達が極めて困難な状況に陥っております。

昨今の海難事故に鑑み、安全確保を最優先とした判断として、万全の態勢を整えられないまま運航を継続することは、公共交通機関としての責務に反するものと判断いたしました。代船の導入も昨年より検討してまいりましたが、適切な船舶の確保に至らず、この度、安全確保の観点から現船による航路維持を断念するという苦渋の決断に至りました。

2. 今後の事業体制について

今回「タクマ3」定期運航の無期限休止は、決して沖縄県における海上運送事業の完全な終了を意味するものではありません。**第一マリンサービス株式会社は今後も沖縄に法人を残し、事業を継続いたします。**

今後は、これまでに培った知見や船員のリソースを活かし、海上運送業のコンサルティング業務や、船舶・船員に関する支援業務などへと事業形態を再構築してまいります。

3. 従業員の雇用について

本航路の終了に伴う従業員の雇用につきましては、第一交通産業グループのネットワークを活かし、沖縄県内でのバス・タクシー事業への配置転換や、グループ内での異動等を通じて、本人の希望に沿った職場の確保に向けて、会社として鋭意努力を重ねてまいります。

本航路を愛して下さった全ての皆様に改めて感謝申し上げます。今後は新たな形ではございますが、沖縄の交通の発展と安全に貢献できるよう邁進してまいりますので、何卒ご理解と変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先:

第一マリンサービス株式会社

3月18日9時より

[問い合わせ連絡電話番号 098-860-0152]

(受付時間:平日 9:00~17:00)